

生活 「あさがお」の一年間

教科・場面

生活・自立活動
休み時間

授業・実践のねらい

- ・土や葉、花など、自然に触れる機会をつくる
- ・一年を通してあさがおの観察をする

対象の児童・生徒

小学部2年児童

呼吸器使用児童1名、姿勢管理要注意の児童1名を含む5名が在籍している。

認知面では、Bグループ2名、Cグループ2名、Dグループ1名に分かれている。(全A~Fグループ)

屋外での移乗時や活動時は、体調面や医ケア面・姿勢面など注意すべき事項が多くあり、活動は短時間になることが多い。

教材・教具

- ・プランター、土、鉢底石、あさがおの種
- ・ペットボトルジョウロ
- ・ジョウロ

工夫したところ

- ・一年間を通してあさがおにふれる機会を設定した
- ・プランターを一人1つずつ用意して、時間や場所を選ばずに取り組めるようにした

授業展開・教材の使い方・実践の内容など

5月末

【生活】土あそび→種まき

砂場セットを使った土あそび、水を含ませた土との感触の違い体験などの後に、種まきをした。

5~7月

【自立活動、休み時間】水やり・観察

水やりではそれぞれが使いやすいジョウロを使用した。観察では直接触れたり写真を撮ったりした。

7月

【生活】色水あそび

水あそびと並行して花の色水あそびをした。(開花のピークが7月末~8月だったため花は少数となった。)

12月

【生活】あさがおリースづくり

それぞれが種をとる体験をしたあと、全員のつるを集めて共同制作をした。

授業・実践を通じた児童生徒の変容

一年を通して取り組んだ結果、植物に触れる機会をたくさん作ることができ、触れるのが苦手な児童も手を引く回数が減った。また、簡単にプランターを室内に運べたので、気温や日差しに左右されず、無理のない姿勢でゆっくり観察することができていた。毎日観察を続ける中では変化が大きくないため、生長の実感を持ちづらかった児童もいた。